



EA21 環境経営レポート

環境経営レポート

2020年3月～2021年2月

作成日 2021年 6月10日

(改訂日 年 月 日)

太陽電化工業株式会社

組織の概要

事業者名及び代表者名

太陽電化工業株式会社

代表取締役社長 伊藤 亮

愛知県名古屋市瑞穂区河岸一丁目5番1号

環境管理責任者

常務取締役 伊藤 卓

連絡先 052-821-1161

事業内容

電気めっき業

事業規模

売上 4億8407万円（2020年度）

従業員 50名（2021年2月28日現在）

工場延べ床面積 3,488.975㎡



対象範囲（認証・登録範囲）、レポートの対象期間及び発行日

対象組織

太陽電化工業株式会社 全組織

活動

製造業（電気めっき業）

レポートの対象期間

2020年3月1日～2021年2月28日

レポートの発行日

2021年 6月10日

（改訂日 年 月 日）

確かな技術で奉仕する

なんのために経営しているのか

表面処理業を通じて持続企業を目指し、社員・家族・地域・協力会社・
お客様に奉仕するため。
ものづくりの根幹を支えるため。

確かな技術って何？

- 様々な素材への表面処理加工（金属だけではない めっきだけではない）
- 多種多様な製品や大量なロット・少量なロットにも対応
- 要求する品質・納期で応える

奉仕するって何に奉仕するの？

- 社員やその家族（自己啓発・働きやすい環境・収入）
- 社会や地域（環境への配慮・地域貢献（雇用・納税・借入等））
- 取引先・協力会社（要求する品質・納期で応える）

行動指針

経営理念に向かって進んでいくために以下のことを社員全員で取り組み、地域から必要とされる企業を目指します。

社員共育に力を入れ、自主性の高い人財を目指します。

働きやすい環境を整え、メンタルヘルス、
ワークライフバランスに取り組みます。

環境保全活動・社会奉仕活動に取り組み、
地域と共に育つ、地域に必要とされる企業を目指します。

多種多様・大量少量・様々な素材への表面処理加工を
お客様の要求する品質・納期・コストで対応します。

環境経営方針

当社はめっき業の生産活動を行う際に、有害な薬品を使用し、その取り扱いによっては大気汚染、水質汚濁、土壌汚染などを引き起こす危険性があり、環境との共生、調和が大変重要な課題と認識し生産活動における環境負荷を継続して削減を図る為、全社一丸となって環境保全活動に取り組みます。

<環境保全への行動指針>

1. 具体的に次のことに取り組みます。

- ① 電力・燃料の効率化を図り、それに伴う二酸化炭素排出量を削減する
- ② 水使用量の削減に努める
- ③ 廃棄物の3R（減量、再使用、再生利用）を推進する
- ④ 生産ラインの工程を見直し、化学物質やVOC（揮発性有機化合物）物質の使用量を削減する
- ⑤ 生産ラインの管理精度を上げ、不良を削減する
- ⑥ 排水について、自主管理値を設定し公害防止に努める

これらについて、環境経営・経営計画を定め、定期的に見直しを行い、継続的な改善に努めます。

2. 環境関連法規制や当社が約束したことを順守します。
3. 地域住民の皆様との環境コミュニケーションに積極的に取り組みます。
4. 環境への取り組みを環境経営活動レポートとしてとりまとめ、公表します。

制定 2008年 1月 6日

改定 2020年 3月 1日

代表取締役 伊藤 亮

主な環境負荷の実績（2017年度～2020年度）

項目	内容	2017年度 (17年3月～18年2月)	2018年度 (18年3月～19年2月)	2019年度 (19年3月～20年2月)	2020年度 (20年3月～21年2月)
総エネルギー投入量	購入電力(kWh/年)	887,158	885,873	806,301	699,857
	ガソリン(ℓ/年)	6,244	5,774	5,688	4,772
	軽油(ℓ/年)	870	865	511	524
	灯油(ℓ/年)	1,475	1,156	1,505	1,382
	都市ガス(m ³ /年)	215,234	216,114	203,460	183,709
温室効果ガス排出量	二酸化炭素(kg-CO ₂)	955,101	954,362	894,751	791,997
総物質購入量	PRTR対象物質(t/年)	32.42	35.90	32.48	27.78
水資源投入量	上水(m ³ /年)	37,603	39,344	36,129	30,156
化学物質排出量	大気への排出量(t/年)	1.7	2.2	1.7	1.7
一般廃棄物排出量 (※再生利用は一般廃棄物のリサイクル) (※単純焼却は可燃ごみ)	再生利用(t/年)	0.6	0.7	0.6	0.6
	単純焼却(t/年)	4.0	3.9	4.1	3.5
	最終処分量(t/年)	0.1	0.2	0.3	0.1
特別管理産業廃棄物排出量 (中間処理)	廃トリクレン(t/年)	0.06	0	0.08	0.08
	廃酸(t/年)	6.7	6.7	7.2	13.1
	廃アルカリ(t/年)	25.18	50.4	45.0	45.8
	有害産業廃棄物(t/年)	18.1	0	4.3	0
総排水量	下水道(m ³ /年)	37,603	39,344	36,129	30,156
	BOD(kg/年)	2,181	2,636	1,987	1,675
総製品生産量	加工費(百万円/年) (外注加工費・消費税を除く)	537	577	521	409

環境経営目標①（2018年3月1日設定）

コア 指標	環境経営方針 (キーワード)	環境経営目標項目 (負荷の自己チェックを踏まえて策定)	責任部門 責任者	基準値(加工(百万円)比) 総量 CO2排出総量	年度毎目標		
					2018年度(18年3月～19年2月)	2019年度(19年3月～20年2月)	2020年度(20年3月～21年2月)
二 酸 化 炭 素 排 出 量	二酸化炭素 排出量の削減	電力の二酸化炭素 排出量の削減	全部門 川口 進	895kg-CO2 887,158kWh 480,840kg-CO2 (2017年度)	△0.2% 893kg-CO2 885,384kWh 479,878kg-CO2	△0.4% 891kg-CO2 883,609kWh 478,917kg-CO2	△0.6% 890kg-CO2 881,835kWh 477,955kg-CO2
		自動車燃料の二酸化 炭素排出量の削減 (ガソリンの削減)	業務係 山田 祐揮	27.0kg-CO2 6,244L 14,486kg-CO2 (2017年度)	△0.5% 26.9kg-CO2 6,213L 14,413kg-CO2	△1.0% 26.7kg-CO2 6,182L 14,341kg-CO2	△1.5% 26.6kg-CO2 6,150L 14,269kg-CO2
		自動車燃料の二酸化 炭素排出量の削減 (軽油の削減)	業務係 山田 祐揮	4.25kg-CO2 870L 2,245kg-CO2 (2017年度)	△0.5% 4.23kg-CO2 866L 2,234kg-CO2	△1.0% 4.21kg-CO2 861L 2,221kg-CO2	△1.5% 4.19kg-CO2 857L 2,211kg-CO2
		ストーブ燃料の二酸化 炭素排出量の削減 (灯油の削減)	業務係 山田 祐揮	6.85kg-CO2 1,475L 3,676kg-CO2 (2017年度)	△0.5% 6.82kg-CO2 1,468L 3,658kg-CO2	△1.0% 6.78kg-CO2 1,460L 3,639kg-CO2	△1.5% 6.75kg-CO2 1,453L 3,621kg-CO2
		ボイラー燃料(都市ガス) の二酸化炭素排出量の 削減	生産係 川口 進	844kg-CO2 215,234m ³ 464,905kg-CO2 (2017年度)	△0.2% 842kg-CO2 214,804m ³ 463,975kg-CO2	△0.4% 841kg-CO2 214,373m ³ 463,045kg-CO2	△0.6% 839kg-CO2 213,943m ³ 462,116kg-CO2

※2017年度 加工費537(百万円)あたり

※電力のCO2排出係数は(株)リミックスポイントの2017年度 調整後排出係数0.542t-CO2/kWhを使用

環境経営目標②（2018年3月1日設定）

コア指標	環境経営方針 (キーワード)	環境経営目標項目 (負荷の自己チェックを踏まえて策定)	責任部門 責任者	基準値 (加工(百万円)比)	年度毎目標		
					2018年度(18年3月～19年2月)	2019年度(19年3月～20年2月)	2020年度(20年3月～21年2月)
総排水量	節水	節水	生産係 全係長	70.0m ³ 37,603m ³ (2017年度)	△0.5% 69.7m ³ 37,415m ³	△1.0% 69.3m ³ 37,227m ³	△1.5% 69.0m ³ 37,039m ³
廃棄物排出量	廃棄物の削減	一般廃棄物の削減 (可燃ごみ)	総務係 伊藤 千佳	7.5kg 4,030kg (2017年度)	△5% 7.1kg 3,829kg	△10% 6.8kg 3,627kg	△15% 6.4kg 3,426kg
		特別管理産業 廃棄物の削減 (廃アルカリ・廃酸・廃トリクレン・廃クロム・廃シアン)	生産係 全係長	93.2kg 50,095kg (2017年度)	△20% 74.6kg 40,076kg	△30% 65.2kg 35,067kg	△40% 55.9kg 30,057kg
生産工程の見直し (化学物質対策)	PRTR対象物質の削減	PRTR対象物質の削減	生産係 全係長	60.3kg 32,420kg (2017年度)	△0.5% 60.0kg 32,258kg	△1.0% 59.7kg 32,096kg	△1.5% 59.4kg 31,934kg
	VOC物質の使用量削減	VOC物質の使用量の削減	生産4係 島田 豊彰	3.2kg 1,740kg (2017年度)	△5% 3.0kg 1,653kg	△10% 2.9kg 1,566kg	△15% 2.7kg 1,479kg
コア指標	環境方針 (キーワード)	環境目標項目 (負荷の自己チェックを踏まえて策定)	責任部門 責任者	基準値	年度毎目標・主な取り組み内容		
					2018年度(18年3月～19年2月)	2019年度(19年3月～20年2月)	2020年度(20年3月～21年2月)
公害防止	排出公害防止	排水の自主管理値 (規制値×0.8)を設定し 公害防止に努める	業務 浅野 五郎	自主基準値 合格率 100%	自主基準値合格率 100%	自主基準値合格率 100%	自主基準値合格率 100%

※2017年度 加工費537 (百万円) あたり

環境経営計画①（2020年3月1日設定）

コア 指標	環境経営方針 (キーワード)	環境経営目標項目 (負荷の自己チェックを踏まえて策定)	責任部門 責任者	基準値(加工(百万円)比) 総量 CO2排出総量	主な取り組み内容	
						2020年度(2020年3月~2021年2月)
二酸化炭素排出量	二酸化炭素排出量の削減	電力の二酸化炭素排出量の削減	全部門 川口 進	895kg-CO2 887,158kWh 480,840kg-CO2 (2017年度)	目標	△0.6% 890kg-CO2 881,835kWh 477,955kg-CO2
		自動車燃料の二酸化炭素排出量の削減 (ガソリンの削減)	業務係 山田 祐揮	27.0kg-CO2 6,244L 14,486kg-CO2 (2017年度)	達成 手段	休憩時間の消灯の徹底 設備稼働の稼働適正化 エアコンの設定温度の適正化 換気扇・排風機の作動時間適正化 ヒーターの蒸気配管への変更
		自動車燃料の二酸化炭素排出量の削減 (軽油の削減)	業務係 山田 祐揮	4.25kg-CO2 870L 2,245kg-CO2 (2017年度)	目標	△1.5% 4.19kg-CO2 857L 2,211kg-CO2
		自動車燃料の二酸化炭素排出量の削減 (灯油の削減)	業務係 山田 祐揮	6.85kg-CO2 1,475L 3,676kg-CO2 (2017年度)	達成 手段	エコドライブ運動展開 社用車運転記録の記入・確認 環境性能の高い新車を購入 物流路線の見直しによる効率化
		ストーブ燃料の二酸化炭素排出量の削減 (灯油の削減)	業務係 山田 祐揮	6.85kg-CO2 1,475L 3,676kg-CO2 (2017年度)	目標	△1.5% 6.75kg-CO2 1,453L 3,621kg-CO2
		ボイラー燃料の二酸化炭素排出量の削減	生産係 川口 進	844kg-CO2 215,234m ³ 464,905kg-CO2 (2017年度)	達成 手段	めっき液温度の見直し ボイラー配管の見直し トラップの点検 ボイラー稼働時間の適正化

※2017年度 加工費537 (百万円) あたり

※電力のCO2排出係数は(株)リミックスポイントの2017年度 調整後排出係数0.542t-CO2/kWhを使用

環境経営計画②（2020年3月1日設定）

コア 指標	環境経営方針 (キーワード)	環境経営目標項目 (負荷の自己チェックを踏まえて策定)	責任部門 責任者	基準値 (加工(百万円)比)	主な取り組み内容	
					2020年度(2020年3月～2021年2月)	
総 排 水 量	節水	節水	生産係 全係長	70.0m ³ 37,603m ³ (2017年度)	目標	△1.5% 69.0m ³ 37,039m ³
					達成 手段	節水運動 水漏れの修繕 水衛門での削減 流量計の設置
廃 棄 物 排 出 量	廃棄物の削減	一般廃棄物の削減 (可燃ごみ)	総務係 伊藤 千佳	7.5kg 4,030kg (2017年度)	目標	△15% 6.4kg 3,426kg
		特別管理産業 廃棄物の削減 (廃アルカリ・廃酸・廃トリクレ ン・廃クロム・廃シアン)	生産係 全係長	93.2kg 50,095kg (2017年度)	達成 手段	使い捨て製品の削減 帳票類の見直し 裏紙の使用 ペーパーレス化の推進 梱包材の廃棄を減らす
	PRTR対象 物質の削減	PRTR対象物質の削減	生産係 全係長	60.3kg 32,420kg (2017年度)	目標	△1.5% 59.4kg 31,934kg
					達成 手段	汲み出し量の削減 不良の撲滅 液の再生利用の検討
VOC物質の 使用量削減	VOC物質の 使用量の削減	生産4係 島田 豊彰	3.2kg 1,740kg (2017年度)	目標	△15% 2.7kg 1,479kg	
達成 手段	汲み出し量の削減 脱脂方法の見直し					
コア 指標	環境方針 (キーワード)	環境目標項目 (負荷の自己チェックを踏まえて策定)	責任部門 責任者	基準値	主な取り組み内容	
					2020年度(2020年3月～2021年2月)	
公 害 防 止	排出公害防止	排水の自主管理値 (規制値×0.8)を 設定し公害防止に 努める	業務 浅野 五郎	自主基準値 合格率 100%	目標	自主基準値合格率 100%
					達成 手段	使用薬品の適正化

※2017年度 加工費537 (百万円) あたり

実施体制図・役割・責任・権限



環境経営計画に基づき実施した取り組み内容①

コア 指標	環境経営方針 (キーワード)	環境経営目標項目 (負荷の自己チェックを踏まえて策定)	責任部門 責任者	主な取り組み内容	実施状況
				2020年度(2020年3月～2021年2月)	
二酸化炭素排出量	二酸化炭素排出量の削減	電力の二酸化炭素排出量の削減	全部門 川口 進	休憩時間の消灯の徹底	○
				設備稼働の稼働適正化	○
				エアコンの設定温度の適正化	○
				換気扇・排風機の作動時間適正化	○
				ヒーターの蒸気配管への変更	×
		自動車燃料の二酸化炭素排出量の削減 (ガソリンの削減)	業務係 山田 祐揮	エコドライブ運動展開	○
				社用車運転記録の記入・確認	○
				環境性能の高い新車を購入	-
				物流路線の見直しによる効率化	○
		自動車燃料の二酸化炭素排出量の削減 (軽油の削減)	業務係 山田 祐揮	エコドライブ運動展開	○
				社用車運転記録の記入・確認	○
				環境性能の高い新車を購入	-
				物流路線の見直しによる効率化	○
		ストーブ燃料の二酸化炭素排出量の削減 (灯油の削減)	業務係 山田 祐揮	ストーブ使用の適正化	○
				ストーブの廃止	×
ボイラー燃料の二酸化炭素排出量の削減	生産係 川口 進	めっき液温度の見直し(脱脂液温度の適正化)	○		
		ボイラー配管の見直し	×		
		トラップの点検	×		
		ボイラー稼働時間の適正化	○		

担当者へのヒアリングにて 概ね実施：○ ある程度実施：△ 実施できなかった：× で評価

環境経営計画に基づき実施した取り組み内容②

コア指標	環境経営方針 (キーワード)	環境経営目標項目 (負荷の自己チェックを踏まえて策定)	責任部門 責任者	主な取り組み内容	実施状況
				2020年度(2020年3月～2021年2月)	
総排水量	節水	節水	生産係 全係長	節水運動	○
				水漏れの修繕	○
				水衛門での削減	○
				流量計の設置	×
廃棄物排出量	廃棄物の削減	一般廃棄物の削減 (可燃ごみ)	総務係 中野 あかね	使い捨て製品の削減	○
				帳票類の見直し	○
				裏紙の使用	○
				ペーパーレス化の推進	○
				梱包材の廃棄を減らす	○
				特別管理産業 廃棄物の削減 (廃アルカリ・廃酸・廃トリクレ ン・廃クロム・廃シアン)	生産係 全係長
	不良の撲滅	×			
	液の再生利用の検討	○			
	液更新頻度の見直し	○			
	生産工程の見直し (化学物質対策)	PRTR対象 物質の削減	PRTR対象物質の削減	生産係 全係長	汲み出し量の削減
不良の撲滅					×
液の再生利用の検討					○
VOC物質の 使用量削減		VOC物質の 使用量の削減	生産4係 島田 豊彰	汲み出し量の削減	△
				脱脂方法の見直し	×
公害防止	排出公害防止	排水の自主管理値 (規制値×0.8)を 設定し公害防止に 努める	業務 浅野 五郎	使用薬品の適正化	○

担当者へのヒアリングにて 概ね実施：○ ある程度実施：△ 実施できなかった：× で評価

★電力の二酸化炭素排出量の削減

基準値	目標値	実績値	次年度目標
895kg-CO ₂	890kg-CO ₂	880kg-CO ₂	888kg-CO ₂
887,158kWh	881,835kWh	699,857kWh	880,061kWh
480,840kg-CO ₂	477,955kg-CO ₂	391,920kg-CO ₂	476,993kg-CO ₂
(2017年度)	(△0.6%)	(2020年度)	(△0.8%)

取組み結果
(基準値比較)

加工費比
実績値

1.7%削減
21.1%削減

目標達成
目標達成

※1段目のCO₂排出量は加工費比(百万円)
※購入電力の調整後排出係数0.542kg-CO₂/kWh
(株式会社リミックスポイント2017年度)

取組み内容

- 休憩時間の消灯の徹底
- 設備稼働の稼働適正化
- エアコンの設定温度の適正化
- 換気扇・排風機の作動時間適正化
- ヒーターの蒸気配管への切替



評価と次年度の環境経営計画

電気使用量は著しく減っているが、生産量が落ち込んだだけである。電力の二酸化炭素排出量削減の取組として5月からアスエネ(株)と契約を行い、再生可能エネルギーの受給を受けるようになり二酸化炭素排出量は著しく減らせるが、使用量の削減取組にも注力して欲しい。

★ストーブ燃料（灯油）の二酸化炭素排出量の削減

基準値	目標値	実績値	次年度目標
6.85kg-CO ₂	6.75kg-CO ₂	7.73kg-CO ₂	6.71kg-CO ₂
1,475L	1,453L	1,382L	1,446L
3,676kg-CO ₂	3,621kg-CO ₂	3,441kg-CO ₂	3,602kg-CO ₂
(2017年度)	(△1.5%)	(2020年度)	(△2.0%)

取組み結果（基準値比較） 加工費比実績値 **12.8%増加 目標未達成** ※1段目のCO₂排出量は加工費比（百万円）
6.3%削減 目標達成

取組み内容

- ストーブ使用の適正化
- ストーブの廃止



評価と次年度の環境経営計画

売上の落ち込み、稼働時間の減少の影響で加工費比は増加、使用量は減少になっているだけである。ストーブの全廃も視野に入れていきたい。当面は使用の適正化を呼びかけて欲しい。

★ボイラー燃料（都市ガス）の二酸化炭素排出量の削減

基準値	目標値	実績値	次年度目標
844kg-CO ₂	839kg-CO ₂	891kg-CO ₂	837kg-CO ₂
215,234m ³	213,943m ³	183,709m ³	214,804m ³
464,905kg-CO ₂	462,116kg-CO ₂	396,811kg-CO ₂	463,975kg-CO ₂
(2017年度)	(△0.6%)	(2020年度)	(△0.8%)

取組み結果（基準値比較） 加工費比実績値 **5.6%増加 目標未達成** ※1段目のCO₂排出量は加工費比（百万円）
14.6%削減 目標達成

取組み内容

- めっき液温度の見直し（脱脂液温度の最適化）
- ボイラー配管の見直し
- トラップの点検
- ボイラー稼働時間の適正化



評価と次年度の環境経営計画

売上が落ち込んでいるが、ボイラーの使用実態が変えられていないのが浮き彫りになっている。各現場で無駄な稼働を減らして、少しでも無駄なエネルギー使用を減らしてほしい。

★節水

基準値	目標値	実績値	次年度目標
70.0m ³	69.0m ³	67.7m ³	68.6m ³
37,603m ³	37,039m ³	30,156m ³	36,851m ³
(2017年度)	(△1.5%)	(2020年度)	(△2.0%)

取組み結果
(基準値比較)

加工費比
実績値

3.3%削減 目標達成
19.8%削減 目標達成

※1段目は加工費比(百万円)

取組み内容

- 節水運動
- 水漏れの修繕
- 水衛門での削減
- 流量計の設置



評価と次年度の環境経営計画

今年度は生産量が著しく落ち込み、使用量も減っただけである。
アナログの流量計の良いものが見つからず実施を見送りしている。早く導入を行って欲しい。
各現場で上記取組を継続して欲しい。

★一般廃棄物（可燃ごみ）の削減

基準値	目標値	実績値	次年度目標
7.5kg	6.4kg	7.9kg	6.0kg
4,030kg (2017年度)	3,426kg (△15%)	3,500kg (2020年度)	3,224kg (△20%)

取組み結果
(基準値比較)

加工費比
実績値

5.3%増加 目標未達成
13.2%削減 目標未達成

※1段目は加工費比（百万円）

取組み内容

- 使い捨て製品の削減
- 帳票類の見直し
- 裏紙の使用
- ペーパーレス化の推進
- 梱包材の廃棄を減らす



評価と次年度の環境経営計画

ビニールや新聞などをしっかり分別するようにし、一般廃棄物量を減らすことができているが仕事量の減少により、片づけを実施し廃棄物が増えている。各現場での意識を高めてほしい。各現場で上記取組を継続して欲しい。

★特別管理産業廃棄物（廃アルカリ・廃酸・廃トリクレン・廃クロム・廃シアン）の削減

基準値	目標値	実績値	次年度目標
93.2kg	55.9kg	132.4kg	51.3kg
50,095kg (2017年度)	30,057kg (△40%)	58,970kg (2020年度)	27,552kg (△45%)

取組み結果
(基準値比較) 加工費比 **42.1%増加** **目標未達成**
 実績値 **17.7%増加** **目標未達成**

※1段目は加工費比（百万円）

取組み内容

- 汲み出し量の削減
- 不良の撲滅
- 液の再生利用の検討
- 液更新頻度の見直し



評価と次年度の環境経営計画

仕事量が減っているのに廃棄量が増えてしまっている。無駄な更新が多すぎる。
 できるだけ廃棄物を減らす意識をもっと高く持ってほしい。
 各現場で上記取組を継続して欲しい。

★化学物質の削減（PRTR対象物質）

基準値	目標値	実績値	次年度目標
60.3kg	59.4kg	62.4kg	59.1kg
32,420kg (2017年度)	31,934kg (△1.5%)	27,779kg (2020年度)	31,772kg (△2.0%)

取組み結果
(基準値比較)

加工費比
実績値

3.5%増加 目標未達成
14.3%削減 目標達成

※1段目は加工費比（百万円）

取組み内容

- 汲み出し量の削減
- 不良の撲滅
- 液の再生利用の検討



評価と次年度の環境経営計画

仕事量が減り使用薬品も減っているが加工費比では削減できていない。
しっかり管理して、省資源化を目指してほしい。
各現場で上記取組を継続してほしい。

★VOC物質の使用量削減

基準値	目標値	実績値	次年度目標
3.2kg	2.7kg	3.9kg	2.6kg
1,740kg (2017年度)	1,479kg (△15%)	1,740kg (2020年度)	1,392kg (△20%)

取組み結果
(基準値比較)

加工費比
実績値

21.9%増加 目標未達成
増減無し 目標未達成

※1段目は加工費比(百万円)

取組み内容

汲み出し量の削減
脱脂方法の見直し



評価と次年度の環境経営計画

購入のタイミングで目標は達成していないが、全体的な使用量は変わっていない。
根本的な対策を行わない限り、減ることは無い。
各現場で上記取組を改めて検討して欲しい。

★排水の自主基準合格率

基準値	目標値	実績値	次年度目標
100% (141検体中141検体) (2017年度)	100%	100% (119検体中119検体) (2020年度)	100%

取組み結果 **自主基準合格率100%達成！！**

取組み内容

排水の自主管理値を
設定し公害防止に努める
排水処理設備の更新
排水処理設備管理の見直し
使用薬品濃度の適正化



評価と次年度の環境経営計画

塩化マグネシウム濃度を高め、凝集沈殿が行われやすいようにし、自主規制濃度を超えることが無くなった。取組みを続けていきたい。また、排水処理施設の修繕を行った。さらに問題が起きる可能性を減らすことができた。

環境関連法規などの遵守状況の確認及び評価の結果、並びに違反、訴訟などの有無①

法規等の名称	該当する設備・項目	内容	確認・判定	
大気汚染防止法	トリクレン洗浄機（3㎡以下）	届出のみ	届出・変更・ 廃止	○
土壌汚染対策法	工場敷地	廃止時に対応	—	—
水質汚濁防止法	めっき設備・排水処理施設	定期点検（1回/年）	2020/6/ 1	○
名古屋市環境 保全条例	めっき設備（悪臭）	苦情時に対応	—	—
	排風機 5.5kW×3 冷凍機 15.7kW×2 22.5kW 56kW 71kW	苦情時に対応	届出・変更・ 廃止	○
	アイドリングストップ	アイドリングストップの教育	2020/3/ 1	○
騒音規制法	排風機 7.5kW	苦情時に対応（準工業地域）	届出・変更・ 廃止	○
		6時～ 8時 60dB 8時～19時 65dB 19時～22時 60dB 22時～ 6時 50dB	2020/3/ 1	○
振動規制条例	排風機 7.5kW	苦情時に対応（準工業地域）	届出・変更・ 廃止	○
		6時～22時 65dB 22時～ 6時 60dB	2020/3/ 1	○
下水道法	排水処理施設	定期測定（1回/2週/月） pH5.0～9.0 CN1mg/ℓ Cr ⁶⁺ 0.5mg/ℓ T-Cr2.0mg/ℓ Cu3mg/ℓ Pb0.1mg/ℓ Zn2.0mg/ℓ BOD600mg/ℓ SS600mg/ℓ F8mg/ℓ B10mg/ℓ	届出・変更・ 廃止	○
			2020/3/ 1	○

環境関連法規などの遵守状況の確認及び評価の結果、並びに違反、訴訟などの有無②

法規等の名称	該当する設備・項目	内容	確認・判定	
廃棄物の処理及び清掃に関する法律	汚泥脱水装置 廃油・廃酸・ 廃アルカリ・汚泥	管理責任者の選任	資格	○
		特別管理産業廃棄物管理責任者	届出・変更・ 廃止	○
		委託契約書・許可証の有効期限の確認	2020/3/ 1	○
		マニフェストの交付・E表までの確認・保管（5年間）	2020/3/ 1	○
		交付状況の報告（6月まで）	2020/5/ 8	○
		廃棄物置き場の管理	2020/3/ 1	○
		処分先の現地確認 <small>（優良産廃処理業者認定の確認）</small>	2020/3/ 1	○
PRTR法	めっき設備 第一種指定化学物質 （6物質／356物質）	排出量報告（1回／年）	2020/4/20	○
毒物及び劇物取締法	めっき設備 該当化学物質 （シアン化合物等）	取締責任者の選任 表示・盗難防止	資格	○
			2020/3/ 1	○
労働安全衛生法	ライン全体 作業環境測定	作業環境測定（2回／年） （特定化学物質・有機溶剤）	2020/7/31	○
			2021/1/27	○

環境関連法規などの遵守状況の確認及び評価の結果、並びに違反、訴訟などの有無③

法規等の名称	該当する設備・項目	内容	確認・判定	
化学物質の適正管理	薬品全般	管理指針の策定	届出	○
市民の健康と安全を確保する環境の保全に関する条例第48条第2項	めっき設備 第一種指定化学物質 (6物質/356物質)	報告(1回/年)	2020/5/7	○
フロン排出抑制法	GHP室外機 ウォータークーラー スポットクーラー	定期点検(1回/3年) ※50kW以上のエアコンに関しては1回/年 簡易点検(1回/3か月)	点検	○
家電リサイクル法	特定家電製品	家電の適正処分	—	○

環境関連法規への違反はありません。なお、関係当局より違反等の指摘は過去3年間ありません。

評価日：2021年2月28日

評価者：伊藤 卓

代表者による全体評価と見直し・指示（評価日：2021年 2月28日）

環境管理責任者の報告	
環境関連法規等の順守状況	関連法規等も遵守できている。引き続き管理を行っていく。
是正及び予防処置の状況	特に無し
前回までの代表者指示事項の対応	新たな目標を立て管理を行っている。
環境経営目標・環境経営計画の達成状況	仕事量が落ち込んでいるが削減できておらず無駄になっている部分が浮き彫りになっている。
周囲の状況変化（外部や法規動向）	コロナウィルス関連で今後も仕事量の減少が続くようである。
環境管理責任者のコメント・提案	
環境経営方針	2017年版のガイドラインに沿った資料作りは出来ていると思われる。
環境経営目標・環境経営計画	2021年度に新たな目標を立て3年間進めてください。
実施体制	特に無し
その他	2021年5月から再生可能エネルギーの受給が始まる。CO2排出量をかなり減らすことができるが、使用量にも注意して欲しい。
代表者による確認・指示事項	
環境経営方針	方針自体は問題が無いと思われるので現状の方針を進める。 変更の必要性 有 <input checked="" type="radio"/> 無
環境経営目標・環境経営計画	特に水資源の使用量と産業廃棄物が増えているので何かしらの対策を行ってください。 変更の必要性 有 <input checked="" type="radio"/> 無
実施体制	変更の必要性 有 <input checked="" type="radio"/> 無
その他	変更の必要性 有 <input checked="" type="radio"/> 無